

下地への
密着性・耐久性が
さらにUP!

カチオンシーラー
水性
強浸透性
シーラー

塗り方

①下地調整 ②養生 ③よくかきまぜる ④塗装1

●はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ、ワイヤーブラシ、サンダーペーパーなどを使用して十分に取除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビドリ等で、油分・ワックスはペイント用溶剤で拭いてよく落とします。
●下地処理は別記のく下地処理の注意に従って行います。

●塗料がついては固まるところは、あらかじめマスキングテープやマスカーなどでおおいます。

●塗料は、棒などで容器の底までよくかきまぜて均一にします。(フタをあげる前に、缶をさかさにして十分振り動かせば、よくまざります)
●必要量をローラー・レイなどのさびない容器に移します。
●塗料を使い切る場合は、缶の天面を缶切りなどで切り開き、棒などで缶の底までよくかきまぜます。

●本品はうすめずにそのまま塗ります。
●コーナーや塗りにくいところは先にすじかいノコで塗ります。

⑤あとしまつ

●塗装が終わったら、ハケや用具は乾かないように水で濯ぎ洗います。
●残った塗料は、固くフタをして保管します。
●マスキングテープなどの養生は塗料が手に付かなくなったらはがします。

危険 ● 腐食の障害のおそれ

救急処置

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 **アサヒペン** 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 東京 03-3846-9545 / 大阪 06-6934-0300

アサヒペン **Cation Sealer**

下地への密着性・耐久性がさらにUP!

カチオンシーラー
水性
強浸透性
シーラー

水性塗料用下塗り剤

透明(クリヤ)

●コンクリート・モルタル・ブロックなどの外壁、塀、屋上、ベランダ、ガレージに
●コロニアル、カラーベスト、スレート瓦、各種セメント瓦に

カチオン
(プラスイオン)

本品

とのイオンが
電氣的に引き合い
密着性・耐久性がUP!

アニオン
(マイスイオン)

上塗り塗料

下地

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02133
品質保証 F☆☆☆☆
販売先 http://www.toryo.or.jp

建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗布できます。

無鉛塗料 鉛・クロム化合物は使用していません。

水 水で薄めて塗ります。

防カビ剤 配合

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

7L

ASAHIPEN CORP.

アサヒペン **Cation Sealer**

下地への密着性・耐久性がさらにUP!

カチオンシーラー
水性
強浸透性
シーラー

水性塗料用下塗り剤

透明(クリヤ)

●コンクリート・モルタル・ブロックなどの外壁、塀、屋上、ベランダ、ガレージに
●コロニアル、カラーベスト、スレート瓦、各種セメント瓦に

カチオン
(プラスイオン)

本品

とのイオンが
電氣的に引き合い
密着性・耐久性がUP!

アニオン
(マイスイオン)

上塗り塗料

下地

(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02133
品質保証 F☆☆☆☆
販売先 http://www.toryo.or.jp

建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗布できます。

無鉛塗料 鉛・クロム化合物は使用していません。

水 水で薄めて塗ります。

防カビ剤 配合

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

7L

ASAHIPEN CORP.

下地への
密着性・耐久性が
さらにUP!

カチオンシーラー
水性
強浸透性
シーラー

商品名 強浸透性水性シーラー **品名** 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(カチオン系シリコンアクリル)、防カビ剤、水

特長

- 浸透性に優れており、劣化した下地に奥深く浸透して下地を補強します。
- カチオン樹脂により下地と上塗り塗料の密着力を高めます。
- たばこのヤニ、油シミ等を抑える効果があります。
- 防カビ効果があります。
- 水性なので取り扱いや後始末が簡単です。

用途

- スレート瓦、セメント瓦、コンクリート床、ブロック塀、モルタル壁などへの塗装時の下塗り
- 塗り替え時の旧塗膜面への下塗り
- 新築に水がかかる場所、いつも濡れている場所、アスファルト面、劣化の激しい下地には使用できません。
- 劣化が激しく、手で触ってボロボロと砂のように取れるような場合には十分な効果が得られませんのでアサヒペン油性シーラーを使用して下さい。
- 本品は下塗り用塗料です。必ず上塗りをして下さい。
- 上塗りには水性塗料を使用して下さい。
- モニエル瓦には使用できません。

取扱い上の注意

- 1.表示の用途以外には使用しないで下さい。
- 2.目に入ったり、皮膚に付着したりしないよう、また誤飲しないよう注意して取り扱って下さい。
- 3.塗装中、乾燥中とも十分に換気し、塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- 4.塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- 5.屋根に塗る場合は、降りるところが最後になるように、順序を考えて塗って下さい。また、転落事故のないように十分注意して下さい。
- 6.塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に行ってください。
- 7.塗るとき及び塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- 8.風の強い日や乾くまでに結露する時間帯には塗装しないで下さい。
- 9.上塗りは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。
- 10.あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、乾燥性・下地への影響・密着性等を確かめてから塗装して下さい。
- 11.塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより異なります。特に塗り面積は、表面状態や吸い込みの速い遅いにより大きく異なります。
- 12.容器から取り出して残った塗料は元の容器に戻さないで下さい。
- 13.容器は塗料を使い切った後から捨てて下さい。
- 14.やむを得ず塗料を捨てる時は、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

下地処理の注意

- 1.つるつるした面は、サンダーペーパー(＃200～＃300程度)で表面を荒らしてから塗って下さい。
- 2.鉄やくさなどの鉄部には十分にサビを落とし、あらかじめサビドメ塗料を下塗りして下さい。
- 3.新しいコンクリートやモルタルに塗る場合は、施工後3週間以上経ってから塗って下さい。
- 4.瓦屋根やモルタル壁などで劣化が激しく表面がボロボロと取れるような場合は、本品の代わりにアサヒペン油性シーラーを使用して下さい。
- 5.水がはく箇所には塗装できません。
- 6.吸い込みが少なく、ハジキが生じる塗装面には適しません。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水で濯ぎ洗って下さい。

保管上の注意

- 1.幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲、誤食、いたずらをしていないよう注意して下さい。
- 2.残った塗料は、フタをし、直射日光や5℃以下の場所を避けて保存して下さい。
- 3.残った塗料は、容器がさびやすいところを避けて保存して下さい。

株式会社 **アサヒペン** 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 東京 03-3846-9545 / 大阪 06-6934-0300

プロテクター：プラスチック(PP)
中ぶた：プラスチック(PE)
容器：キップ・スチール

日本製 00-1110

4 970925 458186